

民主島根

2017年
7.9
第1291号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

7月18日告示・23日投票 飯南・美郷町議選

大激戦、必ず勝ち抜こう

伊藤 飯南町議予定候補、中原 美郷町議予定候補の2議席何としても



街頭から訴える、いとう好晴飯南町議予定候補（写真右）
宣伝する中原保彦美郷町議予定候補（写真左）

飯南町議選（定数10）と美郷町議選（定数12）の告示（18日）が目前に迫りました。飯南町議選には、日本共産党の、いとう好晴町議（現）が4期目をめざします。12人が立候補を予定し、少数激戦が予想されます。美郷町議選には、日本共産党の中原保彦氏（新）が12年間空白となっていた党議席回復に挑みまします。16人が立候補を予定する大激戦となる見込みです。いとう、中原両予定候補は、日本共産党の躍進で、国政私物化の安倍政権をこらしめる意思を示そうと呼びかけ、▽国保・介護の負担軽減▽買い物・通院に便利な交通網の整備などを街頭から訴えています。



6月県議会の論戦から

日本共産党の尾村利成県議は6月21日、一般質問に、大國陽介県議は27日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をたどりました。

尾村県議の一般質問

安心できる国保制度を

尾村県議は、来年度から都道府県単位化される国民健康保険について、減免制度の創設や県の独自財源の投入などを求めました。

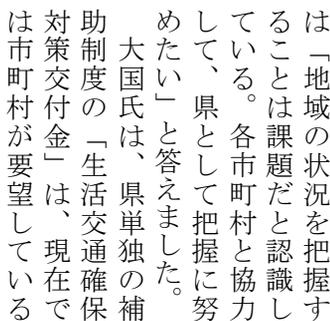
尾村氏は、高すぎる国保料を払えない世帯が県



大國県議の一問一答

介護利用料の負担軽減策を

大國県議は、介護サービスの利用限度額を超えて、自宅に要介護2の祖母を介護する30代女性が「祖母の医療費と介護費用が月10万円かかり、自宅で療養中の母子どもの学費などで家計は厳しい。介護のためにフルタイムで働くことができず、収入を増やすこともできない。行政の支援がもっとあればいいの」と話しているを紹介。その上で、大國氏は「困難な状況が広がっている。介護保険利用者の実態調査を踏まえた上で、



生活交通を守る主体性発揮を

大國県議は、自家用車など交通手段を持たない住民にとって、鉄道やバス、タクシーなどの公共交通は、生活をしていく上でなくてはならないものだとして、有効な対策を講じるために「公共交通の空白地域の実態調査をすべきだ」と迫りました。

尾葉寛佳地域振興部長は「地域の状況を把握することは課題だと認識している。各市町村と協力して、県として把握に努めたい」と答えました。大國氏は、県単独の補助制度の「生活交通確保対策交付金」は、現在では市町村が要望している

では非情な保険証の取り上げはなく、資格証明書の発行実績もないことを説明。都道府県化に伴う事務統一にあたって、被保険者に有利な基準を設けるべきと求めたのに対し、吉川健康福祉部長は「基本的には、被保険者のサービス向上につながるよう、そろえていくことが望ましい」と答弁しました。

（2面に続く）

吉川敏彦健康福祉部長は、当初検討していた抽出調査から、すべての居宅介護支援事業所などに対象を広げた調査を7月に実施すると説明し、「必要な対応策を考えていきたい」と応じました。

（2面に続く）

鼓動

「プロデビューからわずか半年の中学生が将棋界に燦然と輝く金字塔を打ち立てた」。30年ぶりの新記録となる29連勝（その後1敗）を果たした藤井聡太四段の活躍が各マスコミに躍った。とてつもない偉業らしい。わずか14歳の少年をここまで強くしたものは何か。ある新聞は「詰将棋で培った終盤力」と「AI（人口知能）で鍛えた序・中盤の隙のなさ」を勝因に上げていた。詰将棋は将棋の上達方法としては江戸時代からある「伝統の技術」だそう。一方、AIは近年、活用され始めた手法という▼だとすると、藤井少年と他のベテラン棋士を分けた決め手はAIだったのか。ある解説者は、藤井将棋について「相手に隙があれば序・中盤から勝負を決めに行く指し手が目立ち、そこから詰将棋で鍛えた終盤に持ち込むのが勝ちパターンでは」と指摘。つまり、AIから学んだ指し手で、序・中盤に勝負をかけているのだ▼AIのすごさについては、2016、17年の「電王戦」で、タイトル保持者のプロ棋士がコンピュータの将棋ソフトと対戦して連敗し、実証済みだ。藤井四段も「最近のソフトに勝つのは難しい。自分も強くなったが、ソフトははるかに強くなっている」という▼ここから学ぶことは、AIと人間の能力を対立的にとらえるのではなく、人間がAIを活用して、さらに力をつけていくことであろう。それは勝負の世界だけでなく。宇宙開発、医療、大災害時の対応など多岐に及ぶ。藤井少年の偉業は、改めてAIをも駆使して進化する人間の可能性を証明した。（吉）

大國県議の質問(続き)

全国学力テストは中止せよ

2月議会の尾村県議の質問によって、2016年度の全国学力テストに参加した299校のうち小学校49校、中学校8校の計57校で、国の通知に反してテスト直前の4月に過去問題や類似問題を解かせていたことが明らかとなりました。

大國県議は、今回の問題について指示を出したのは誰だったかなど、県教委として調査結果を示すよう迫りました。

鴨木朗教育長は、学力

尾村県議の質問(続き)

再稼働前提の廃止措置は問題

尾村県議は、わが党は「原発の廃炉は大賛成」と述べた上で、「中国電力の廃止措置は、原発の廃炉解体と同時に、使用済み核燃料を再処理し、危険なプルトニウムを燃やすプルサーマル運転がセットになっている」と指摘。「原発再稼働が前提であり、破綻した核燃料サイクル政策、プルトニウム循環方式にしがみついている本計画は容認できない」と強調しました。

また、尾村氏は、使用済み燃料を処理する技術は未確立であり、「使用済み燃料の処分手段・方法については、専門家の英知を結集して研究開発

うであるなら、日常から過去問が使用されることになり、一年を通じて過去問を使用したテスト対策が行われることになり」と矛盾を指摘し、全国学力テストの中止を求めました。

待機児童を解決するためには、認可保育所の増設・定員増と保育所職員の待遇改善が欠かせないとし、「職員配置基準の改善は、行き届いた保育の実践とともに職員の労働環境改善にも直結する。職員配置基準を見直すべきだ」と要求しました。

吉川敏彦健康福祉部長は「国に対して、引き続き要望していく」と答えました。

子育て支援施策の拡充を

今年4月1日時点の待機児童数は、松江市で30人、出雲市で78人、雲南市で9人、大田市で2人となっています。

大國県議は、児童福祉法24条第1項では「保育を必要とする場合において、保育所において保育を実施しなければならぬ」と規定していることとにふれ、法の趣旨に照らせば「機児童は本来あってはならない」と指摘。

溝口善兵衛知事は「県安全対策協議会では」廃炉を進めることへの異論はなかった。県議会や関係自治体の意見を踏まえ、県として総合的に判断したい」と答えました。

と主張しました。

吉川敏彦健康福祉部長は「国に対して、引き続き要望していく」と答えました。

実効ある生活困窮者支援を

尾村県議は、滋賀県野洲市では「債権管理条例」を定め、「税金や国保税が払えない」「多重債務で苦しんでいる」などの住民の困難や苦しみに市役所の各課が連携して生活再建を手助けしていることを紹介。「市民の生活が何よりも優先される」というこの先駆的な取り組みを島根でも推進していくよう求めました。

吉川敏彦健康福祉部長は「今年度4月、生活困

大佐山風力発電事業について

グリーンパワーインベストメントが浜田市金城町と広島県北広島町の県境に高さ150メートルの風力発電施設を最大17基建設しようとしている計画について、尾村県議は健康被害や自然環境、生態系への影響を十分に調査・説明すべきで

子どもの医療費助成の拡充についても質問した大國氏は「県内では、県の乳幼児医療費助成制度に19市町村すべてが上乘せ助成を実施しているが、『就学前まで』から『高校卒業まで無料』にして自治体もあるなど、バラツキが大きい状況」と指摘し、「底上げを図るためにも県制度を充実すべきだ」と求めました。

吉川健康福祉部長は「子どもの医療費助成は今後の検討課題だと認識している。引き続き、国に対して負担軽減措置の拡充を求めていきたい」と答えました。

地域の話題

「憲法とくらし」9条の会が講座

9条の会安来市はこのほど、安来市で「第5回市民講座『憲法とくらし』」を開きました。峠田(たおだ)晃宏弁護士が講演し、約50人が参加しました。

峠田氏は、政府の憲法案が天皇主権を残すなど、あまりに保守的な草案だったため、「GHQが日本の自主的な改正作業に見切りをつけ、国民主権と戦争放棄を含む草案作成を開始するに至った」と説明しました。

グループトークでは「安倍さんの改憲発言は戦争に対する反省がない」「憲法はすべての人が幸せに

松江 211回目 原発金曜行動

県庁前で6月23日、211回目の金曜日行動があり、15人が参加しました。「島根原発やめてごせ」核のゴミはどげしやもない」と方言でコールし、中国電力島根支社までパレードしました。

リレートークで、毎回参加している岩本令子さんは「反対の意思は行動で示さないと。島根原発2号機の再稼働は絶対に反対です」と語りました。

バスを待っていた60

大田 県母親大会に360人が参加

第55回県母親大会が6月25日、大田市で開かれました。田部恵子実行委員長は「私たち一人ひとりの思いや命が大切にされる世の中をめざして、運動の輪を大きく広げていくことを誓います」と挨拶。

俳優の有馬理恵さんが芝居とトークを交えながら講演しました。

小松彩乃さんは「安倍さんには国民を見てほしい。自分も積極的に政治に働きかけていきたい」と話しました。分科会は、乳幼児の育児法、学校給食、障がい児教育、自立支援などをテーマに行われました。

7/2東京都議選 畔上三和子さん再選!

共産19議席へ躍進 自民大惨敗

安倍自公政権の暴走政治への審判と東京都政の転換が大争点となった都議選(定数127)が2日、投票票され、日本共産党は現有17議席を上回る19議席を獲得し、躍進しました。

ご支援、ご協力ありがとうございました

島根からは畔上三和子氏(現) 、「都議選勝利をめざす募金」への協力ありがとうございました。

江東区への支援に 協力ありがとうございました。

5月18日から片寄直行さん、吉井安見さんが順次、支援オルグとして活動し、6月には宣伝ボランティア延べ22名を派遣しました。(写真)

代の女性は「デモをやることは良いことだ」と話しました。

